

機関番号：31302

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2010

課題番号：20520693

研究課題名（和文）「結節都市」大連市における日系企業の地域的生産体制の形成と課題

研究課題名（英文）The Regional Production System of the Japanese Corporations in Dalian City: Its/Their Formation and Future Challenges

## 研究代表者

柳井 雅也 (YANAI MASAYA)

東北学院大学・教養学部・教授

研究者番号：00200527

## 研究成果の概要（和文）：

当研究は、中国大連市における日系企業の地域的生産体制を解明することにある。その結果、これまで日本からは人件費の削減を目的とした工場進出が多かったが、中国経済の発展によって、中国市場を目的にした進出もみられるようになった。この過程で、生産と物流の機械化とロジステックの整備が進みつつあり、大連市のインフラ整備がこれを促進している。

## 研究成果の概要（英文）：

This study is to elucidate the regional production of Japanese-affiliated company system in Dalian city. As a result, Many factories moved from Japan for the purpose of the reduction of personnel expenses until now. However, the advances aimed for a China market by the development of the China's economy increased. In this process, the mechanization of production and the distribution of the logistic advance, and infrastructure maintenance of Dalian City promotes this.

## 交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,500,000	450,000	1,950,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
2010年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	2,900,000	870,000	3,770,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：人文地理学・人文地理学

キーワード：経済・交通地理学

## 1. 研究開始当初の背景

大連市は戦前から日系企業が数多く進出し、戦後もいち早く日系の企業進出がみられた地域である。当初は労働集約型の開発輸入を主とする立地だったが、近年はインフラ整備も進み、人件費も上昇して以前のような賃金節約型の生産体制の維持は困難になってきている。この変化を経済地理学的に解明したいと考えた。

## 2. 研究の目的

大連市における日系企業の地域的生産体制の解明を行って、その理由や拠点性の維持の理由を明らかにすることが目的である。

## 3. 研究の方法

日系企業で対象とする産業は、大連市の成長を牽引してきた繊維、食品、機械（含・電機、精密等）、情報産業である。この実態を

解明するため、次の3点を重視しながら研究を行う。

(1)「結節都市」大連という地理的優位性と交通結節機能の分析である。

(2) 日系企業の企業内国際分業と国際物流システム、情報通信システムを連動させながら分析を行うことである。これはアンケート調査及び現地聞き取り調査によって解明した。

(3) 日系企業地域的生産体制を空間的に偏倚させる要因となる地域政策についても検証を行うことである。

#### 4. 研究成果

研究方法の(1)～(3)に対応させて成果を示す。

(1) 大連市は、日本からの投資のゲートシティとしての役割を担い発展を遂げてきた。2008年には都市建設の重要プロジェクトも135項目にわたって実施されモノレールや地下鉄の建設が進んでいる。その他、港湾施設の能力増強、高速鉄道の充実、空港整備など、地理的拠点性を強化する投資が続いている。

(2) これまで日本からはコストカットを目的とした進出が多かったが、中国市場の拡大を期待した進出も増えている。物流は港湾活用が主流だが、一部精密部品などは空輸が行われ、日本の倉庫や顧客までのリードタイムは約2週間となっている。

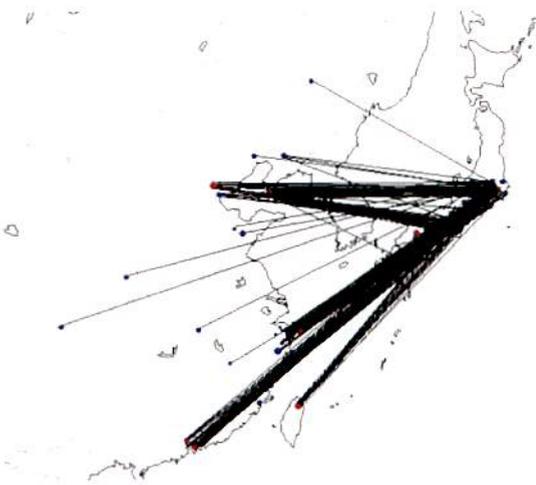


図1 大連進出電機企業の日本本社と大連および他地域立地状況(柳井研究室作成)

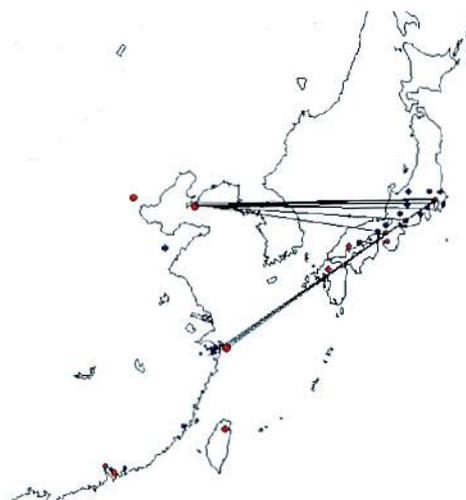


図2 情報サービス(前掲と同じ表示)

(3) 大連市ソフトウェアパークのように産業の高度化(例えば環境、情報、金融などの「三高」政策)が進んでいる。日系企業のなかにも現地に進出する企業も出てきている。

このようにして、「結節都市」大連市は、社会基盤の整備と日本を含む外資誘致政策を梃子に、その拠点性の維持と産業構造の高度化を図っていくことが目的化され、それに伴い日系企業の地域的生産体制も次第に市場対応型、ソフト開発型企業にシフトしつつある。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

①柳井雅也 楊世英『「結節都市」大連市における日系企業の地域的生産体制の形成と課題』(PDF ファイル配布) 査読無 2011 pp1-30.

②柳井雅也「アイリスオーヤマの中国進出と国内生産体制の補完と維持について」Sustainable strategies for Improvement of Asian Urban Competitiveness 査読無 2010 pp31-39.

③楊世英「中国における経済成長と就業弾性に関する研究」人間情報学研究 査読無 15巻 2009.

[学会発表](計4件)

①MASAYA Yanai 'Iris Ohyama Inc. expanding into China to supplement and maintain its domestic production system' Economic Geographical Society of Korea and Korean Urban

Geographical Society, Incheon convention center (Korea)、2011. 11. 6

②柳井雅也「中国大連市における日系企業の活動」法政地理学会、法政大学、2009. 12. 12

③柳井雅也「YKKの海外事業戦略-中国進出を中心として-」人文地理学会、富山地学会、富山県入善市入善まちなか交流施設うるおい館、2009. 6. 13

④楊世英「中国経済「W」型回復する可能性」中国商業経済学会、河南商学院（中国鄭州）、2008. 7. 20

〔図書〕（計1件）

①楊世英『現代アジア経済』昭和堂 2011  
247頁.

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

柳井 雅也 (YANAI MASAYA)  
東北学院大学・教養学部・教授  
研究者番号：00200527

### (2) 研究分担者

楊 世英 (YANG YOEI)  
東北学院大学・教養学部・准教授  
研究者番号：90316323

### (3) 連携研究者

なし ( )  
研究者番号：